

[平成 24 年 1 月 5 日発信：文責井上慶治]

新年明けましておめでとう御座います。

建築士会員の皆様には穏やか新年をお迎えのこととお慶びを申し上げます。

旧年中は大変お世話になりましてありがとうございました。

特に支部会員の皆様には、「歴史的建造物の保全・活用の促進による地域の活性化事業」の悉皆調査に多くの時間をかけて頂きました。さらに、この機会に「城下町大和郡山の建物探訪」と題し城下箱本十三町における歴史的建造物の調査をもくろみ、その大半の目視外観調査を終えることができました。

この行動を通じ、市内杉山小児科の杉山先生、素敵な音楽を奏でていただいた{あんでいあーも}の皆さん、本家菊屋の菊岡会長を始め、多くの自治会長様、K-P o o Lの皆さん、旧川本家住宅保存活用プロジェクトや城下町再発見プロジェクトの笑顔いっぱいの元気な皆様に出会えたことが何よりの成果であったことと感謝申し上げます。このことは、多くの方々が、この街の保存・活用に思いを致しておられることであると確信しております。

今後、22 年 23 年の資料を成果品としてどう整理するか、担当支部会員の皆様の議論を願います。さらに 24 年度には、形ある行動を起こしたい考えております。

本年も何卒宜しく御指導、ご協力の程お願い致しますと共に多くの方の参加を期待致します。

平成 24 年 1 月 1 日

社団法人奈良県建築士会

郡山支部長 井上慶治

郡山支部活動報告も 10 回を数えることになりました。

＊ **支部のページ**は、支部会員の活動を記しています。このHPをご覧の方々に、建物に思いを寄せる私達の行動を少しでも御理解いただき、関心有る多くの会員の参加を期待致します。

＊ **市内のページ**は、私達のこの行動の中での大和郡山市内の行事やイベントを掲載していますが。このことは、建物には、住む人の来し方があり、生活、習慣、行動、歴史がその建物を語っているとの思いから、城下町の人々の暮らし、行事やお店の成り立ち等を知り、歴史を知ることが重要な要素であると考えています。

HPを見ていただき、大和郡山の街を散策頂ける道標に活用していただければ幸いです。

I 支部のページ

■ 11月20日（日）9時30分～15時

場所：旧川本邸

参加者：立辻利治、杉村道也、仁田晴夫、徳本雅代、井上慶治

1、大和郡山建物探訪作業、城下町の城堀からの水路経路調査も必要。矢田筋の調査を行う。

途中2階建ての明治後期か大正期の町屋、Sさん宅を訪問、藺町で呉服商を商われておられ、その別荘がこの建物で、昭和2,3年に建築されたとのこと、建設当時白い紙の折鶴を木組中に吊るし、虫よけを手伝った記憶が残っていると、家の補修は、昔の工法で行うも、材料等の手当てがうまく行かないとのことのお話。又いろはかるたを数年前から自費で作成、市内幼稚園、小学校に配られているとのことのお話を伺う、再度訪問させて頂く事を約束して、調査を進める。

2、矢田筋から高田町を調査する。

■ 11月20日（日）13時～15時/受講者：井上（概要を記す）

大和郡山の歴史と文化講座—黎明期から中世へ—

講師：長田光男

① 石の時代—黎明期の郡山

- 1、矢田の伝承遺跡：饒速日尊^{にぎはやひのみこと}の降臨
- 2、小泉付近の遺跡：小泉大塚古墳の特異性、慈光院裏山遺跡遺構と出土物
- 3、大化の改新と条里制：生活空間は平地部へ

② 寺の時代—花咲く文化

- 1、天武天皇の構想「凡そ都城・宮室、一処に非ず」→「新城」の浮上
- 2、殖槻の地—郡山の町で一番古い地名・高市皇子と殖槻の丘
- 3、平城京の郡山：殖槻寺・観世音寺・高田寺・薬園、今も残る都大路
- 4、平安仏と鎌倉仏—中央との交流が齎^{もたら}したもの

阿弥陀信仰と地蔵、珍しいナタ彫像、叡尊と忍性の活動、石像美術

※ 明治期の柳沢氏は、中央との繋がりが深く、京都との結びつきも多く、政治は移ったが、生活、文化を中心に、教育、産業に力を入れ、地元には多くの文化人を輩出、県下始めての郡山中学（当時の五條高校は分校）の設立に尽力された。

※ 大和郡山には、日本の歴史の凝縮したものが沢山ある。

※ 大和郡山の来し方、歴史を知ることが、私達の調査の前提であることに思いを新たにす。

■ 12月3日（土）9時～16時

奈良県地域文化財建造物専門家育成講習会開催

会場：三の丸会館A、B会議室

参加者38名

1、郡山支部長挨拶

2、立辻郡山副支部長より、大和郡山市の歴史や、昨年の調査結果の説明。

3、(株)本家 菊屋 菊岡成泰会長より、柳町商店街の成り立ちと、現在のお話を聞く。

- ・貴重品である、砂糖はお城のご用達で、菊屋は殿様と共に、出石から姫路をへて郡山へ来たようである。（1639年本田政勝が姫路城から郡山城に封ぜられるとある）

- ・ いまの建物は、安政の地震で崩壊した（1854年6月14日倒壊150軒、半壊400軒、死者120人）その材料を使って再建した。私が建築した店の後ろの鉄筋コンクリートの工場は、雨漏りが始まっており、木造の方がはるかに強いように思う。
 - ・ 昭和9年生まれの子供のころの柳1丁目には、はアーケドを設え（戦時中に供出）多くのお店があり、商売熱心の町であったが、戦争に負け、復興のための教育に力を注ぎ、子弟の多くは東京の大学へ進み、東京の住人となる方が多く、この街に子供が少なくなり、お店も売却されマンションや空地が目立ってきている。
 - ・ お菓子は、茶道と共に発展してきており、今は常に作務衣を着用して、伝統を守ろうとしている、26代目の息子にも、自信をもつて家業に進むよう話している。
 - ・ 建築士の皆さんにも、未来のための努力をお願いしたい。
- 4、地域貢献委員会担当者より、柳1丁目から6丁目まで調査の説明を受け会場を出発する。
途中 菊屋・柳楽屋・K-P o o Lに寄り説明を受け、6班に分かれて調査を開始する。
- 5、午後、近現代建築物の工法3.の講義を受け、本日の講義は終了する。「お疲れ様でした」

■ 12月18日（日）9時30分～16時

場所：三の丸ロビー

参加者：立辻利治、沢田 貢、亀岡俊典、一色菊雄、徳本雅代、井上慶治

- 1、平成24年1月14日の奈良県地域文化財建造物専門家育成講習会の進行について
受講者に郡山をよく知っていただく事が最も肝要ではないの議論をする。
結果：当日の町屋調査は、郡山城址から、本町通りの街並、紺屋町の並び、旧川本家を散策してもらい、城下町の様子を現地実習講義とする。
- 2、大和郡山建物探訪作業
近鉄郡山駅前から、柳町商店街の一部と高田口の伝統的建物の調査を行う。

今後の予定

- 案内 1月14日（土）：奈良県地域文化財建造物専門家育成講習会 町屋調査その2
会 場 ： 三の丸会館 集合 9：00
- 案内 1月22（日）上記の残り書類整理を行う
会 場 ： 三の丸会館 集合 9：30～
- 案内 2月5日（日）：大和郡山建物探訪最終まとめ作業
会 場 ： 三の丸会館（予定）9：30～
- 案内 2月12日（日）：支部音楽鑑賞会「桂三枝創作落語独演会」
会 場 ： 大和郡山城ホール 会場 13：30

大和郡山建物探訪	同左
旧川本家で打合せ	矢田筋 S さん宅
	
撮影日 平成 23 年 11 月 20 日	撮影日 平成 23 年 11 月 20 日
大和郡山建物探訪	長田先生の講義
矢田筋 S さんのいろはかるた	県立民俗博物館
	
撮影日 平成 23 年 11 月 20 日	撮影日 平成 23 年 11 月 20 日
奈良県地域文化財建造物専門家育成講習会	柳町商店街の説明
会場風景	講師 本家菊屋・菊岡会長
	
撮影日 平成 23 年 12 月 3 日	撮影日 平成 23 年 12 月 3 日

文化財建造物専門家育成講習実習	柳楽屋店内
同上現地 1 班 柳 1 丁目	柳町商店街が作ったアンテナショップ
	
撮影日 平成 23 年 12 月 3 日	撮影日 平成 23 年 12 月 3 日
同上現地実習	同左
K-Pool 店頭	柳 5 丁目
	
撮影日 平成 23 年 12 月 3 日	撮影日 平成 23 年 12 月 3 日
1 月 14 日 準備、探訪調査打ち合せ	大和郡山建物探訪伝統的建築物調査
三の丸会館ロビー	柳町商店街の調査
	
撮影日 平成 23 年 12 月 18 日	撮影日 平成 23 年 12 月 18 日

Ⅱ 郡山市内のページ

2011 秋・大和郡山城下町たてもの散歩

主催： 城下町再発見プロジェクト

後援： 大和郡山市、大和郡山市教育委員会

： 大和郡山市観光協会、(社) 奈良県建築士会郡山支部

11 月 26 (土)・27 (日) 集合 13:00 三の丸会館出発

見学コース： 三の丸会館広場出発→杉山小児科医院→

葉本邸→旧川本邸 (各建物の内部を見学) [所要時間約 2 時間 30 分]

参加料： 500 円 (お茶とお菓子付)

※ 両日とも 30 名を超える参加者があった。

市内を始め、大坂や愛知県からの来訪者は、城下町の建物を興味深く廻られ、観光ガイドや建築士の説明に多くの質問もあり、晩秋の郡山の町並を楽しまれた。

城下町たてもの散歩	城下町たてもの散歩
本町通りから新中町へ	葉本邸前で徳本さんの説明を聞く
	
撮影日 平成 23 年 11 月 27 日	撮影日 平成 23 年 11 月 27 日
城下町たてもの散歩	城下町たてもの散歩
杉山小児科医院前	旧川本邸での参加者ミーティング
	
撮影日 平成 23 年 11 月 27 日	撮影日 平成 23 年 11 月 27 日

1300 年前（和同 5/712）稗田阿礼は元明天皇の詔を受けた太安萬侶と共に「古事記」の編纂に携わった。市内稗田町の賣田神社に〔主斎神 稗田阿礼命〕として祀られている
大和郡山市では、2 月 4 日から 1 年間多くのシンポジウムを行い新たな物語を全国に発信する。
—安麻呂の墓詣ふ三日茶畑に 几 兆—

古代の様々な伝承を語り、古事記の編纂に携わった 稗田阿礼の出身地
奈良県 大和郡山市

2012 年
1 月～12 月
語り部の里 大和郡山より
語ること 語り継ぐことの
大切さを発信

古事記 1300 年紀

人間ってすごいじゃないか。
語り継ごうよ、
語り部の里から。

古事記 1300 年
新たな物語
発信の始まり

オープニングイベント
2月4日(土) 10:00～11:40
やまと郡山城ホール 大ホール 入場無料・要申込
※詳細は要覧をご覧ください。

同時開催

第10回 こおりやま歴史フォーラム「古事記を語る」	2月4日(土) 13:00～18:20	絵:武智 尚
第8回 記憶力大会	2月5日(日) 10:00～18:30	
ブックフェア(市立図書館)	1月5日(木)～2月19日(日)	

イベントスケジュール

当世語り部口座	～人間ってすごいじゃないか、語り継ごうよ、語り部の里、大和郡山から～	やまと郡山城ホール	全10回
餅・塩・食・字 古事記どんまい	奈良県「古事記語り部」による企画「古事記」展	やまと郡山城ホール	9月9日(日)
「古事記と宇宙」のシンポジウム	京都大学文学部総合研究ユニット 発	やまと郡山城ホール	11月23日(金)・24日(土)
古事記の星 ウォーク&イベント	～京都・奈良・大和郡山・大和郡山阿礼伝説～		10月27日(土)・11月10日(日)
ふるさと語り部エッセイ	～今、語り継いで行きたいことへの言葉		

主催：古事記 1300 年紀事業実行委員会
奈良県大和郡山市・北条山地区・大和郡山市役所 企画協賛
共催：大和郡山市・大和郡山市教育委員会
後援：奈良県・NHK奈良放送局・奈良テレビ放送(株)・奈良新聞社・朝日新聞奈良支店・産経新聞奈良支店・共同通信奈良支店・毎日新聞奈良支店・
読売新聞奈良支店・日本経済新聞奈良支店・一般財団法人奈良県観光センター・アズビーロー

TEL.0743-53-1151内線246 FAX.0743-53-1049
http://www.city.yamatokoriyama.nara.jp
E-mail: kojiki@kcn.ne.jp

古事記 1300 年紀	古事記 1300 年紀
賣田神社境内	昭和 54 年竹西さんが見つけた太安萬侶の墓
	
撮影日 平成 24 年 1 月 3 日	撮影日 平成 24 年 1 月 3 日